

令和 2 年度における重点的な取組課題について

1 ICT 教育の推進

令和 2 年度から実施される新学習指導要領においては、小学校でプログラミング教育が必修化されるなど、「情報活用能力」が「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられており、今後の学習活動においては積極的に ICT を活用することが求められている。

同時に、コンピュータや大型提示装置、超高速インターネット、無線 LAN の整備など、学校の ICT 環境の整備が必要となっている。

【目標 1】志を持ち「徳・知・体」の調和がとれた子どもをはぐくむ学校教育の充実
施策の方向性 2 確かな学力の育成

2 「チーム学校」の取組の充実

今日の学校における複雑化・多様化した課題を解決していくために、「チームとしての学校」のあり方が重要になっている。教員に加えて、多様な専門性を持つ職員を配置し、学校が一つのチームとして連携・協力して課題の解決に取り組む体制を構築することが求められている。

【目標 1】志を持ち「徳・知・体」の調和がとれた子どもをはぐくむ学校教育の充実
施策の方向性 2 確かな学力の育成
施策の方向性 3 健やかな心と体の育成
施策の方向性 4 夢や希望、志をはぐくむ教育の推進
施策の方向性 6 今日的な課題に対応した教育の充実
施策の方向性 7 教育の質を高める体制の充実

【目標 2】将来にわたり安全安心で快適な学校教育環境の整備
施策の方向性 2 安全安心で安定的な学校給食の提供

3 学校適正配置と地域コミュニティ

少子化の進展により将来の児童生徒数が減少しても、本市の子どもたちが確かな学力を身につけ、心身が健やかに成長できる教育環境を確保、提供していくため、秋田市小・中学校適正配置基本方針に基づく地域との協議を行っているが、学校適正配置の取組と並行して、その後の地域のあり方を考える必要がある。

【目標 2】将来にわたり安全安心で快適な学校教育環境の整備
施策の方向性 1 良好な学校教育環境の整備